

善意ヒーロー 愛知の輪

「マスクマスクとおれの名を呼ぶ声が出たからやってきた」

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、愛知県尾張地方の児童福祉施設や乳児院計四カ所に十九日と二十日の夜、「タイガーマスク」を名乗る人物などから紙芝居や絵本が入った段ボールが次々と届いた。名古屋市港区の社会福祉法人「ふれ愛名古屋」にも「仮面ライダー」からプレゼントが届いたばかり。各施設の贈り物に添えられた手紙を読むと、「タイガーマスク」と「仮面ライダー」は連携しているらしい。

(平木友見子、岩井里恵、小林大晃)



仮面ライダー「タイガー」から連絡「次のヒーローに託す」

日進市の児童福祉施設「中日青葉学園」と天山市の乳児院「赤ちゃんの家 さくらんぼ」には十九日夜、一宮市の児童養護施設「照光愛育園」と「子ども家ともいき」には二十日夜に段ボール箱が届けられた。いずれも紙芝居や専用の木枠、絵本、ぬいぐるみなどが入っていた。

四力所とも玄関先などに置かれていた。「赤ちゃんの家さくらんぼ」では、男性とみられる人がインターネットで「お届け物です。置いていきまます」と告げたが、職員が出ていくとだれもいなかった。モニターに映った人は、パーカを着てマスクをしてい

た。「中日青葉学園」と「照光愛育園」に置かれた箱には、タイガーマスクの絵が張られていた。両施設とも手紙の文面は同じ。「マスクマスクとおれの名前を呼ぶ声が出たからプレゼントをもってやってきた」と始まり、「妖怪

新型コロナウイルスに打ち勝つため世界中のわたしが戦っている」「少しの時間でもその退屈な時間が少なくなるように俺の気持ちを受け取ってくれ」などと記されていた。

「子どもの家ともいき」と「赤ちゃんの家さくらんぼ」への贈り物の箱には、仮面ライダーの写真とタイガーマスクの絵が張ってあった。手紙の差出人は明記されていない。ただ「友だちのタイガーマスクから連絡があった」「妖怪新型コロナウイルスに打ち勝つため世界中の仮面ライダーたちも戦っている」といった文面から、仮面ライダーからと推察される。文末に「次のヒーローに託す」とあり、活動の広がりも期待している。



届けられた贈り物に子どもたち 21 日午後、愛知県一宮市の照光愛育園で

一宮の二施設を運営する社会福祉法人「照光会」の番勝彦理事長(左)は「施設の子どものことを思い浮かべて行動してくれたことは何事にも代えがたい。手紙の通り次のヒーローが現れてくれたら」と期待。中日青葉学園の妹尾浩和学園長は「子どもたちは制限が多い生活を強いられおられますが、元気にやっています。ありがとうございます」と感謝した。

「マスクは足りていますか」とたずねた上で直接、ホームにきた。「知多市のボランティアの伊達直人」と名乗ったという。マスクと一緒に手紙も持参。「コロナウイルスという目に見えない敵が日本中に広がりつつある中、介護現場の最前線で高齢者と全力で向き合い対応してい

る介護施設の職員に心から感謝していません。大変な日々が続くと思いますが頑張ってください」などと書かれていた。同市内では伊達直人を名乗る男性が14日に別の福祉施設、17日に老人保健施設をそれぞれ訪れ、マスク60枚ずつを贈った。(福本英司)

「伊達直人」はマスク

愛知県知多市の特別養護老人ホーム「ふれあいの里」には20日、「伊達直人」を名乗る男性がマスク100枚を届けた。30～40代とみられる。事前に電話で